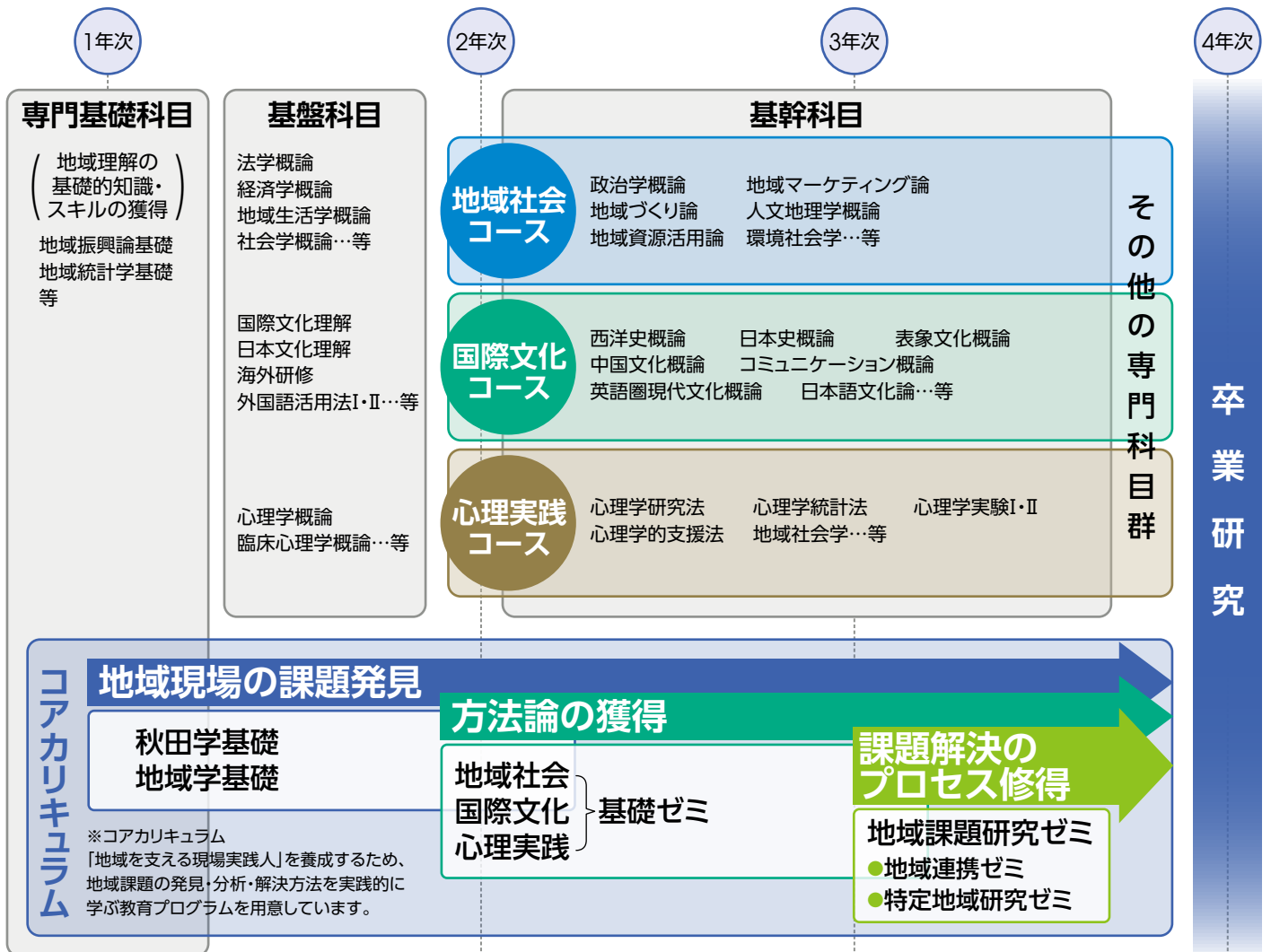


# 地域文化学科のカリキュラムの特色

地域文化学科では、幅広い教養を身に付ける態勢は維持しながらも、地域社会コースは、地域活性化のための様々な場面をコーディネートする実践力養成を、国際文化コースは、地域の国際化を支えるグローバルな見識と行動力養成を、そして心理実践コースは、地域で生きる人々に寄り添う公認心理師の養成を実現するため、それぞれの目的に応じた段階的なカリキュラムを用意しています。



1年次から地域に出かけて現場の取り組みや地域資源を体験(1年次「地域学基礎」での活動の様子)



## コースの選択

地域文化学科では、1年次は社会を多角的に捉える基礎となる教養科目や、学科全体に共通する専門基礎科目を学びます。2年次になる段階で、各自が専門的学習の中心とするコースを選択します。そこで「地域社会」「国際文化」「心理実践」のいずれかの専門科目を中核としながら、他コースの様々な専門科目も幅広く学ぶことで、深い専門性と多角的な視点を身につけて、地域社会を支えるための実践力の基盤をつくることができます。



県内自治体のパンフレットを検討(特定地域研究ゼミ)